

Live for garden island

下蒲刈 ガーデンアイランド〈庭園の島〉 地域まちづくり計画



～歴史と伝統文化を次世代に
故郷を愛せるまち「しもかまがり」～



平成21年3月

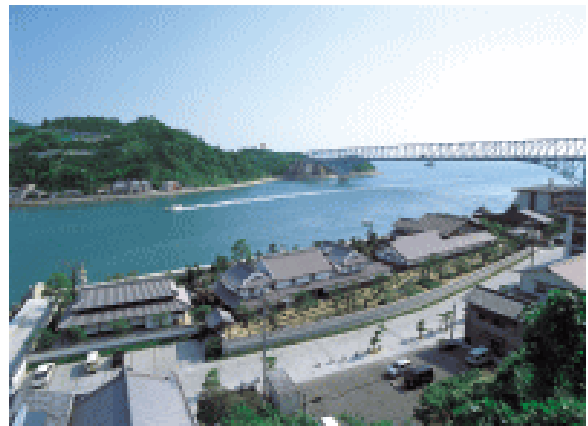
下蒲刈地区まちづくり協議会

— 目 次 —

1. 計画策定の趣旨	3
2. 私たちのまち「下蒲刈」の再認識	3
(1) 位置・特性	
(2) 歴史	
(3) 主な文化・観光施設等	
(4) 人口・世帯・自治会・教育機関	
(5) 長所「宝」	
3. これまで進めてきたまちづくりの特色	6
(1) 「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」 に基づくまちづくり	
(2) エリア別まちづくりの特色 ・ 下島地区 ・ 三之瀬地区 ・ 大地蔵地区	
4. 安芸灘諸島に期待される役割	8
5. 私たちのまちの実状と課題	9
6. まちの将来像“スローガン”	10
7. まちづくりの方針（振興方針・活動方針・活動内容）	11
(1) 振興方針と活動方針	
①文化と歴史の継承と観光色あふれるまちづくり	
・ 伝統文化継承の充実	
・ 観光振興・地域PRの充実	
②みんなで支え合い、心豊かに暮らせるまちづくり	
・ 環境衛生美化の充実	
・ 芸術文化・生涯活動の充実	
③健康で安心して住み続けられる社会環境と福祉のまちづくり	
・ 健康づくりの充実	
・ 高齢者福祉の充実	
・ 交通事故の防止と安全対策の充実	
・ 防犯対策の充実	
(2) 計画体系図	
(3) 活動内容（事業別）	
8. 各種団体一覧	23

1. 計画策定の趣旨

「市民協働のまちづくり」を進める呉市では、平成20年度、「ゆめづくり地域協働プログラム」を策定し、それぞれの地域で、住民自らが地域の歴史や文化の再発見、地域資源の保全など、実状や課題を話し合い、その具体的な解決策や振興策など地域の将来像を盛り込んだ地域まちづくり計画を策定することを支援し、その計画に沿った特色ある自主的なまちづくりを推進しています。



これを受けて、下蒲刈地区では、当まちづくり協議会が中心となり、これまで進めてきた「文化と歴史の掘り起こし」や「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」に基づくまちづくりを再認識し、当地区が抱える課題の解決に向け、取組や役割を盛り込んだ計画を策定し、まちづくりの方向性をより一層はっきりさせていきます。

2. 私たちのまち「下蒲刈」の再認識

(1) 位置・特性

- ◇北に川尻町，東に蒲刈町，西に音戸町・倉橋町とそれぞれ海を挟んで隣接し，南には遠く四国連峰を臨む四方を海に囲まれた島。
- ◇広島県の南端，仁方町の南東海上約5kmに位置し，下蒲刈島と上黒島，下黒島，ヒクベの島々から成る総面積8.71Km²の町。
- ◇急傾斜地と瀬戸内海式の温暖な気候を利用し，基幹農作物として，かんきつ類（みかん，レモンなど）やイチゴの栽培に適している。
- ◇近年まで離島として厳しい立地条件にあったが，平成12年1月に「安芸灘大橋」が完成したことにより，住民の利便性が向上した。また，同時に観光地としての需要も高まり，地域の活性化にも繋がった。さらに平成20年11月には，豊島大橋が開通して四島（下蒲刈島，蒲刈島，豊島，大崎下島）が陸続きになり，安芸灘とびしま海道の玄関口となった。



(2) 歴史

- ◇中世頃、瀬戸内海の交通・交易が盛んで、多賀谷水軍が勢力を持ち、丸屋城を築くなど、往来船舶の停泊地として栄える。
- ◇江戸時代、三之瀬に本陣・番所・茶屋が整備され、参勤交代の西国大名の船、朝鮮・琉球・オランダ等の使節団が立ち寄るなど大繁栄する。
- ◇善隣友好使節団である朝鮮通信使の寄港地（12回来日したうち11回立ち寄ったといわれる）として、歴史と伝統を持つ由緒ある町として知られている。
- ◇明治24年、上蒲刈島村が分村し、向地区を含めて下蒲刈島村として発足、その後、向村が分村、昭和37年には、町制施行により下蒲刈町となった。平成15年呉市と合併し、呉市下蒲刈町として現在に至る。



(3) 主な文化・観光施設等

- ◇観瀾閣 ◇福島雁木 ◇侍屋敷 ◇三之瀬御本陣芸術文化館 ◇蘭島閣美術館
- ◇蘭島閣美術館別館 ◇白雪楼 ◇姫ひじき塩づくり体験施設
- ◇松濤園（陶磁器館、御馳走一番館、あかりの館、蒲刈島御番所） ◇昆虫の家
- ◇朝鮮通信使記念庭園 ◇貝と海藻の家 ◇コテージ梶ヶ浜 ◇梶ヶ浜海水浴場
- ◇梶ヶ浜キャンプ場 ◇大平山公園 ◇白崎園

(4) 人口・世帯・自治会・教育機関（平成20年4月現在）

- ◇総人口 1,947人（男923人、女1,024人） 862世帯
- ※平成3年4月の人口 3,643人

◇年齢階層別人口構成

年少人口（15歳未満）144人 生産年齢人口（15～64歳）1,075人
老年人口（65歳以上）728人 平均年齢 53.20歳（※呉市 46.73歳）

◇自治会 全3自治会

三之瀬自治会（全7地区 232世帯）
下島自治会（全8地区 337世帯）
大地蔵自治会（全5地区 177世帯）

◇教育機関

中学校1校（下蒲刈中学校） 全校生徒数 31名
小学校1校（下蒲刈小学校） 全校児童数 50名



（５）長所「宝」

- ◇瀬戸内海国立公園固有の多島海による風光明媚な自然と、島内に点在する松並木の景観との調和が美しい。
- ◇長期にわたって下蒲刈の歴史を研究し、郷土文化を掘り起こすと同時に、全島庭園化事業「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを推進してきた。
- ◇地域の文化、風土を尊重した日本庭園や日本建築に一貫してこだわっており、中でも蘭島閣美術館前の石畳舗装に松を配する庭園風景は下蒲刈を代表する景観である。
- ◇わずか二千人足らずの島に、立派な文化施設や美術品、朝鮮通信使を紹介する施設は全国的にも希少である。
- ◇町内を巡回する生活路線バスが１日１１便あり、児童・生徒の通学や高齢者の移動手段として利用されている。
- ◇地区内数カ所に*中水の取水場を設け、農業用水や灌水時の水として常時無料で利用できる。*中水とは上水として生活用水に使った水を下水道に流すまでもう一度再利用する水のことをいいます。
- ◇伝統的なみかんの栽培。その歴史は古く、始まりは、約450年前とされている。現在、みかん畑にある木々は、昭和28年～30年にかけての、みかんブームの時代に植えられたものである。
- ◇歴史的には、海上交通の盛んなころの自負心と活力、それに「朝鮮通信使」使節団を友好的にもてなした「ホスピタリティ文化」。



3. これまで進めてきたまちづくりの特色

(1) 「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくり

平成2年より「文化と歴史の掘り起こし」と、瀬戸内の豊かな自然と日本の伝統文化を活かした全島庭園化事業「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを推進することで、魅力あるまちの実現を目指している。

具体的には、下蒲刈の文化・歴史、特に朝鮮通信使を大きな柱とした町づくり、蘭島閣美術館、音楽会を中心とした芸術面での人づくり、「松」を中心とした景観づくりがある。

これらのまちづくりは、住民と行政との協力によって進められた官民一体のまちづくりであった。



「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」に基づくまちづくり とは？

本構想は、自然破壊なしで「地域振興」「生活環境整備」「観光振興」「自然と文化と歴史的環境の質的向上」を実現することを目的としています。

具体的には、ガーデニングの方法を活用した“庭園の島づくり”を進めることで、地域の生活環境整備がさらに進み、住民にとって真に下蒲刈島がプライド・オブ・プレス（Pride of Place、地域への誇り）と感じられるようになります。その結果、住民自身“わが島・わが町意識”を高め、島内の環境整備や景観創出事業にも参加することになります。

このようにして島が美しく、活気に満ちてくれば、当然、島外の人々は、一度は訪れてみたい島・町となっていくのです。

※参考：平成19年の一年間に下蒲刈を訪れた観光客数は約8万5千人に



(2) エリア別まちづくりの特色

下蒲刈町は3つの地区（自治会コミュニティ）で組織され、地域性を活かした特色あるまちづくりが行われています。

下 島 地 区

海と文化と歴史エリアの玄関口及び良好な居住環境ゾーン

- ◇安芸灘とびしま海道の玄関として、瀬戸内の自然環境と松を調和させた町並みで、訪れる人の心を和ませる。
- ◇農業生産基盤を整備し、基幹作物であるかんきつ類などを生かした特産品の開発や農業体験などの多様なソフトが充実している。
- ◇農業集落としての特性を生かしながら、海辺の快適な居住空間の形成を目指している。



三 之 瀬 地 区

瀬戸内海の文化・迎賓拠点及び保健・医療サブ拠点ゾーン

- ◇蘭島閣美術館や松濤園など、既存の文化施設機能の充実を図り、呉市における海辺の文化・迎賓拠点としての役割を担っている。
- ◇公立下蒲刈病院など、安芸灘4島の保健・医療のサブ拠点として機能の充実を図るとともに、市民センター等の行政機能を充実させた地域密着型のサービスを行っている。



大 地 蔵 地 区

漁業・農業の振興及び海辺の良好な居住環境ゾーン

- ◇豊かな自然環境と観光資源としての漁業、農業を生かした多様なソフトの充実、特産品の開発、加工などの事業を展開している。
- ◇梶ヶ浜海水浴場、キャンプ場、コテージ等を中心としたマリン・レクリエーション施設の充実と活用を図るとともに、姫ひじき塩づくり体験施設を体験学習の場として提供している。
- ◇大地蔵並木（道路片を青石で囲んだクロマツ並木）が約四百メートルも続き、海辺の快適な景観として魅力を打ち出している。



4. 安芸灘諸島に期待される役割

平成12年に安芸灘大橋が、平成20年11月には安芸灘諸島連絡架橋3号橋（豊島大橋）が開通したことにより、安芸灘諸島が陸続きとなった。定住機能の確保と島しょ部の活性化を図るため、下蒲刈町は、安芸灘地域の玄関口に当たる地域として、本地域の行政機能の充実を図るとともに4島の保健・医療のサブ拠点として公立下蒲刈病院などの医療施設の充実が期待されている。

また、蘭島閨美術館、松濤園などの文化ゾーンを始めとした瀬戸内海の文化と歴史を生かし、呉市の瀬戸内迎賓エリアとして、地域発展と観光振興が期待されている。



5. 私たちのまちの実状と課題

少子高齢化が著しい中、平成12年の安芸灘大橋の開通後も、人口の流出、若者の町外への移住傾向は続き、町内の高齢化、過疎化はさらに進んでいる。地域力の低下をはじめ、支援や介護を必要とする人の増加、地元産業を支える後継者不足など多岐に渡ってその影響がでている。

また、地域コミュニティ活動においても、まちづくりを担うリーダーが、多団体の役員を重複していることが多いため、集いの目的は異なるが、集うメンバーは固定されている。このことは、役員の兼任や留任の原因にもなり、団体の高齢化に繋がっている。今後、若者の地域活動への参加を促す意味でも、団体のあり方や活動内容を見直す必要が生じている。

さらに、近年、松喰い虫予防剤の空中散布が廃止されたことにより、下蒲刈町のシンボルでもある松が全島にわたり枯れはじめ、生活道路に倒れる被害が生じている。台風などがあれば一層深刻な事態となるため、早急に対応策を講じる必要がある。

このような、地域課題の解決に向けて、自治会を中心とした組織や団体が連携し、住民とともに地域力を強めていくまちづくりが必要になっている。



6. まちの将来像 “スローガン”

下蒲刈町は、これまで地域住民の大きなチャレンジ精神をもって、美しい天与の自然、文化・歴史を掘り下げながら、島を庭園のように創りあげてきました。

先人が築いてきた文化・歴史・自然、人々の体験などが若い世代に受け継がれ、住民が愛着と誇りを持って住み続けたいと思えるような魅力あるまちづくりを目指していくため、当まちづくり協議会は、まちの将来像を“歴史と伝統文化を次世代に 故郷を愛せるまち「しもかまがり」”と定めます。



～歴史と伝統文化を次世代に

故郷を愛せるまち「しもかまがり」～



7. まちづくりの方針（振興方針・活動方針・活動内容）

（1）振興方針と活動方針

「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを基軸としたまちの将来像「歴史と伝統文化を次世代に 故郷を愛せるまち“しもかまがり”」を実現するために、効果的と考えられる振興方針を以下の3つに整理しました。実施に当たっては、基本的に地域住民（各種団体）が主体となり、行政と連携して取り組んでいきます。

これらの振興方針は、平成21年度から10年後の地域の姿をイメージし、各事業を展開していきます。

1. 文化と歴史の伝承と観光色あふれるまちづくり

（1）伝統文化継承の充実

1. 地区祭
2. とんど祭
3. 朝鮮通信使再現行列

（2）観光振興・地域PRの充実

1. 梶ヶ浜ビーチフェスタ
2. 観光PR



2. みんなで支え合い、心豊かに暮らせるまちづくり

（1）環境衛生美化の充実

1. 町内クリーン作業/病虫害駆除
2. 枯れ松等の環境整備

（2）芸術文化・生涯学習の充実

1. 町民文化祭
2. 公民館における生涯学習
3. 芸術文化の祭典



3. 健康で安心して住み続けられる社会環境と福祉のまちづくり

（1）健康づくりの充実

1. ウォーキング大会
2. 町民体育大会

（2）高齢者福祉の充実

1. 敬老会
2. 高齢者訪問/世代間交流

（3）交通事故の防止と安全対策の充実

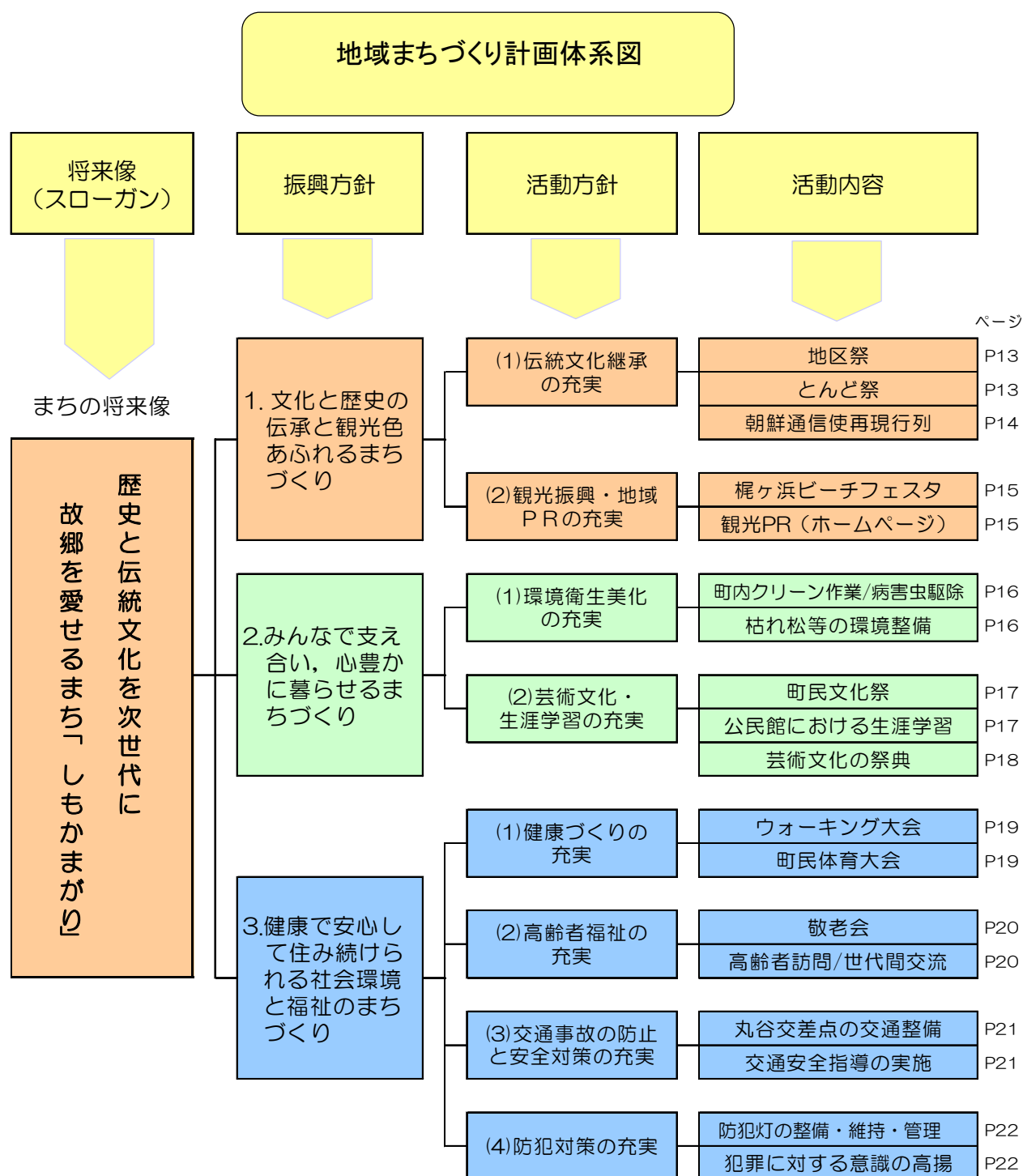
1. 丸谷交差点の交通整備
2. 交通安全指導の実施

（4）防犯対策の充実

1. 防犯灯の整備・維持・管理
2. 犯罪に対する意識の高揚



(2) 計画体系図



(3) 活動内容（事業別）

振興方針 1. 文化と歴史の伝承と観光色あふれるまちづくり

(1) 伝統文化継承の充実

1. 地区祭（下島・三之瀬・大地蔵）

主 体	時 期（4月・8月・9月・10月）
・自治会（下島・三之瀬・大地蔵） ・自治会伝統文化郷土芸能保存実行委員会（下島・三之瀬・大地蔵）	
内 容	
春祭、盆踊、秋祭など3地区それぞれが特色ある祭を行っている。子どもから高齢者までの参加があり、世代間交流や伝統文化の継承効果が期待される。祭の時期には子ども達による和太鼓・權伝馬船・伝馬船のろ漕ぎの練習が行われる。	
課 題	対 策
祭に参加できる若者が減少しており、太鼓や御神輿などの協力者不足が深刻になっている。少子高齢化が進む中で地域伝統文化の継承が難しくなっている。	各自治会の伝統文化郷土芸能保存実行委員会が中心となり地区祭（春祭・盆踊り・秋祭）を企画運営していくとともに若者や子どもの参加を積極的に募る。

2. とんど祭（下島・三之瀬・大地蔵）

主 体	時 期（1月）
・下蒲刈地区とんど祭り実行委員会 ・自治会（下島・三之瀬・大地蔵） ・女性会（下島・三之瀬・大地蔵） ・地元消防団	
内 容	
3地区がそれぞれの会場で地域性あふれるとんど祭を実施。早朝からとんどを組み立て、同日点火を行う。地元消防団による火気警戒や後片づけが行われる他、会場では、風揚げや女性会による甘酒が振る舞われる。竹つき餅焼きが下蒲刈の定番になっている。	
課 題	対 策
組み立てから点火まで、時間的余裕があるため、時間配分を調整し、午前中に事業全体が終わるよう見直す必要がある。	とんど実行委員会が全体の企画調整を行い、各自治会が消防分団、女性会等と連携を図り地区別に実施する。広報活動には、保育所・小中学校の協力を図る。

3. 朝鮮通信使再現行列

主 体	時 期（10月）
・ 朝鮮通信使行列保存会 ・ 蘭島文化振興財団 ・ 春蘭会	
内 容	
鎖国の時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」が来日した際、幕府から「御馳走所」に指定された下蒲刈は、広島藩を挙げての大歓迎を行った。この朝鮮通信使が立ち寄った際の行列を再現することで地域の歴史の掘り起こしと、日韓友好を目的とする。行列には、町内外から多くの参加がある。	
課 題	対 策
地域住民の高齢化などの諸事情による参加者数の減少。人員確保が年々困難になっている。	下蒲刈の代表的文化イベント「朝鮮通信使再現行列」の継続実施のため、地域住民及び各種団体の協力、連携を一層図る。



(2) 観光振興・地域PRの充実

1. 梶ヶ浜ビーチフェスタ（海開き）

主 体	時 期（6月）
・梶ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会 ・各種団体	
内 容	
毎年、県内でもっとも早く開催される海開きを広くPRするとともに、下蒲刈町の伝統文化の継承や地域住民の交流の場として活用することで、地域の活性化を促進する。	
課 題	対 策
呉地区労働者福祉協議会による助成金が平成19年度で廃止されたため、平成20年度からは、寄付金のみで運営することとなった。よって、これまで以上に事業費の確保が困難となったことから、将来的には事業を縮小する可能性がある。	下蒲刈町ひいては呉市の恒例行事でもある当事業を継続していくため、地域住民・団体の協力を強く呼びかけ、連携を図るとともに、活用が可能な各種助成制度等については積極的に利用する。

2. 観光PR（ホームページ）

主 体	時 期（通年）
・下蒲刈市民センター ・蘭島文化振興財団 ・下蒲刈地区まちづくり協議会	
内 容	
下蒲刈市民センターホームページを公開し下蒲刈の観光マップや見所・食事処を紹介。安芸灘とびしま海道等の広域的な観光案内も検索できる。「くれナビ」「蘭島文化振興財団」等のウェブサイトにもリンクしている。	
課 題	対 策
各種イベントやみかん狩り情報などをタイムリーに公開、更新する必要がある。検索しやすくアクセシビリティを重視したホームページづくりが求められる。	下蒲刈地区はもちろん、安芸灘4島の観光、イベント情報を常に入手し、タイムリーに公開・更新する。

(1) 環境衛生美化の充実

1. 町内クリーン作業・病害虫駆除

主 体	時 期（6月・7月）
・下蒲刈地区公衆衛生推進協議会 ・女性会（下島・三之瀬・大地蔵） ・呉市消防団22・23・24分団	
内 容	
早朝より、子どもから高齢者までが集い町内全域を清掃。地元の消防団による側溝清掃や小中学生によるボランティア清掃を行う。雨期から夏期にかけて定期的な生活道路の除草も行う。病害虫駆除事業として地区女性会がゴキブリ団子を作り町内配布する。	
課 題	対 策
地域住民がより多く参加できるよう取り組む必要がある。	下蒲刈地区公衆衛生推進協議会が中心となり「町内クリーン作業」の広報，参加協力を広く求める。

2. 枯れ松等の環境整備

主 体	時 期（通年）
・下蒲刈地区自治会連合会 ・呉市消防団22・23・24分団 ・下蒲刈市民センター ・地元土木建設業者	
内 容	
下蒲刈地区における枯れ松は増える一方で、生活道路等へ倒れるなど被害が増加している。倒木時の撤去を迅速に行うため、地元の各種団体等と連携し対応する。また、事前防止にも視野に入れ監視体制や対応策を検討する。	
課 題	対 策
倒木の持ち主に連絡が取れない場合、撤去の対応が困難になる。市民センターだけでは、撤去対応が困難なため、地元自治会や消防団の協力が必要になる。大きな倒木の場合、レッカーやトラック搬送が必要になるため、地元土木建設業者等などのボランティア支援も必要になる。	倒木の持ち主が遠方に住んでいたたり、連絡が取れないものについては、自治会や市民センターが状況を把握し、地元消防団や土木建設業者と連携をはかり撤去に取り組む。倒木の処理については、地元の加工施設等で薪として利用。倒木のおそれがあるものは、危険力所の表示を取り付ける。

(2) 芸術文化・生涯学習の充実

1. 町民文化祭

主 体	時 期（11月）
・下蒲刈町民文化祭実行委員会 ・下蒲刈町文化協会 ・下蒲刈地区青少年補導員連絡協議会 ・下蒲刈町女性団体連合会	
内 容	
文化の日に、公民館と文化協会が共催で実施。日本舞踊などの芸能発表、書道、絵画を中心とした展示発表、茶道団体によるお茶のおもてなしがある。文化活動団体に発表の場を与えるとともに、地域の文化活動を広く周知し、地域住民の生涯学習参加へのきっかけづくりを目的としている。	
課 題	対 策
人口減・高齢化により担い手・参加者の数が減ってきている。	下蒲刈町文化協会が中心となり、より多くの住民が参加、来場できる文化祭を企画運営する。

2. 公民館における生涯学習

主 体	時 期（通年）
・下蒲刈公民館運営委員会	
内 容	
茶道・陶芸・日本画など生涯に渡る趣味となる講座や、英会話などの実用的な講座を1年間を通して定期的に実施。生涯学習の場を提供すると共に、仲間づくりの場としてもらう。上記趣味・教養講座は学習目標を定め、目標を達成した場合は、自主サークル化に向けての支援をおこなう。	
課 題	対 策
人口減・高齢化により参加者の確保が難しくなっている。	地域の実状やニーズを踏まえ、公民館講座を見直し、自主サークル等の地域の自発的な活動ができるよう支援を図る。また、趣味・教養講座以外に、公民館運営委員会に諮った社会参画につながる現代的・地域的課題（高齢者問題・子育て支援等）の単期講座を実施している。

3. 芸術文化の祭典

主 体	時 期（通年）
・ 蘭島文化振興財団 ・ 蘭島閣ギャラリーコンサートの会 ・ 下蒲刈地区まちづくり協議会	
内 容	
蘭島閣美術館や松濤園などの文化施設を軸として、特別展や蘭島閣ギャラリーコンサート、体験教室などの各種事業をとおして歴史記念物、芸術資料の保存、普及を図ると共に、住民の幅広い文化意識の向上と地域文化を創生するための場の提供を行う。	
課 題	対 策
「下蒲刈 文化と歴史の祭典」を代表とする特別展や「ふれあいコンサート」などへ積極的な誘客が求められる。	新聞、ホームページ、市政だよりを中心とした広報を積極的に行う。



ふれあいコンサートの様子

(1) 健康づくりの充実

1. ウォーキング大会

主 体	時 期（9月・3月）
・下蒲刈ウォーキング等実行委員会 ・下蒲刈地区みんなで健康づくり推進協議会	
内 容	
「第3土曜日はウォーキングの日」にちなみ、手軽で身近なウォーキングを実施。歩きながら下蒲刈の自然豊かな風景を味わい、体を動かすことが健康づくりに繋がることを再確認できている。興味がある人は誰でも参加でき、開催を楽しみにしている人が増えつつある。	
課 題	対 策
自分自身の健康に関心を持つ人が増えるようにしていく。	下蒲刈地区みんなで健康づくり推進協議会や下蒲刈ウォーキング等実行委員会を中心にウォーキング大会や健康講座を開設する。

2. 町民体育大会

主 体	時 期（10月）
・下蒲刈地区町民大会実行委員会 ・下蒲刈体育協会 ・下蒲刈地区自治会連合会 ・下蒲刈小学校 中学校 保育所	
内 容	
毎年、体育の日に、体育協会、自治会連合会、小中学校が共催で体育大会を実施。地域の各種団体も協働する。地域住民が地域内の団体やその活動を知るとともに、自らが参加することで地域に対する連帯感を向上させる。	
課 題	対 策
本大会はそれぞれ小学校・中学校の運動会を兼ねている。そのため今後、児童・生徒数の減により学校の統廃合があった場合存続が難しくなる恐れがある。人口減・高齢化により担い手・参加者の数が減ってきている。	下蒲刈町民体育大会実行委員会を中心に小中学校、住民参画型の体育大会の継続実施を図る。

(2) 高齢福祉の充実

1. 敬老会

主 体	時 期（9月）
・下蒲刈地区社会福祉協議会 ・下蒲刈地区老人クラブ連合会 ・女性会（下島・三之瀬・大地蔵） ・第22区民生委員児童委員協議会	
内 容	
敬老の日に高齢者に感謝の意を表し、長寿を祝うため、地区内の70歳以上の方を対象に食事と一緒に催し物を楽しんでもらう。	
課 題	対 策
運営に携わる団体の構成員が高齢化しており若年層が少ないこと。	下蒲刈地区社会福祉協議会が中心となり、様々な方策を通じて地域の世代間のふれあい向上を図っていく。

2. 高齢者訪問・世代間交流

主 体	時 期（通年）
・第22区民生委員児童委員協議会 ・下蒲刈通所介護事業所 ・下蒲刈保育所	
内 容	
介護福祉センター、老人集会所及び保育所が一体となる「下蒲刈複合福祉施設」において、幼児・高齢・介護福祉関係事業を一体的に進め、高齢者と子ども達がふれあい親しめる福祉拠点を設けている。また、民生委員が、ひとり暮らしの高齢者等を訪問し巡回相談を行う。	
課 題	対 策
「下蒲刈複合福祉施設」のよさをより一層活かした事業を行うこと。 民生委員児童委員の負担が増えすぎないように役割分担に気をつける。	複合施設の施設当事者が、問題や課題について意見交換することで、高齢者等と地域社会の融和を促進し、もって高齢者等の健全な生活を支援する。さらに、民生委員児童委員が、巡回相談等も引き続き行い、緊急時における高齢者支援の体制づくりも行う。

(3) 交通事故の防止と安全対策の充実

1. 丸谷交差点の交通整備

主 体	時 期（早期取組）
・下蒲刈地区自治会連合会 ・広警察署 ・下蒲刈市民センター	
内 容	
豊島大橋の開通により交通量が増えたため、信号機のない丸谷交差点での交通事故が想定される。交通整理，信号機の取り付けも視野に入れ検討を図る。	
課 題	対 策
信号機取り付けの要望はしているが，設置に多額の予算が必要となるため，設置目処が付いていない。それまでの事故防止対策が必要になる。	地域団体や関係部署と連携を図りながら交通整理，信号機の取り付けも視野に入れ検討を図る。

2. 交通安全指導の実施

主 体	時 期（通年）
・下蒲刈地区交通安全推進協議会 ・広交通安全協会下蒲刈支部 ・小中学校PTA	
内 容	
交通安全運動期間中におけるテント村，保育所園児による交通安全パレードの実施や毎月原則1日に公用車で地区内を巡回啓発。自転車大会への出場で高齢者，小学生の交通安全への意識を高める。	
課 題	対 策
迷惑駐車やスピード違反等の危険行為の撲滅。	下蒲刈地区交通安全推進協議会が中心となり，ドライバーに協力を求めるとともに，児童生徒への安全指導を行う。

(4) 防犯対策の充実

1. 防犯灯の整備・維持・管理

主 体	時 期（通年）
・下蒲刈地区自治会連合会 ・下蒲刈市民センター	
内 容	
防犯灯の球切れや修繕の必要を発見したら各自治会長や区長に報告，事務局を通じて委託業者へ連絡。地区内全域の防犯灯電気料金は，下蒲刈地区自治会連合会が取りまとめている。	
課 題	対 策
防犯灯の球切れや修繕対応に時間がかかることもあるため，地区住民から催促のクレームがある。	自治会と市民センターが迅速な連携を取り，防犯灯の球切れや修理依頼の調整をする。防犯灯の新設が必要な場合，設置費用やランニングコストを検討し，自治会連合会で判断する。

2. 犯罪に対する意識の高揚

主 体	時 期（通年）
・第22区民生委員児童委員協議会 ・下蒲刈地区自治会連合会 ・広警察署 ・下蒲刈市民センター	
内 容	
防犯に関する情報提供を町内放送や連絡網で地域全体に注意喚起する。高齢者を狙う振り込め詐欺の防止対策としては，広警察署と民生児童委員が連携を取り，詐欺防止のビラ配布や口コミを行う。子どもの安全確保として町内全域に「呉こども110番の家」の協力をお願いしている。	
課 題	対 策
犯罪防止活動以外にも民生児童委員に協力・連携を依頼することが多く，負担を増やしている。	犯罪発生時は，町内放送や連絡網で地域全体へ注意喚起する。 子どもの安全確保として民生児童委員（児童連絡会）が中心となり「呉こども110番の家」を定期的に見直していく。

8. 各種団体一覧

- ◇ 下蒲刈地区まちづくり協議会
- ◇ 下蒲刈町女性団体連合会
単位女性会（下島/三之瀬/大地蔵）
- ◇ 青年会（下島/三之瀬/大地蔵）
- ◇ 下蒲刈地区公衆衛生推進協議会
- ◇ 第22区民生委員児童委員協議会
- ◇ 下蒲刈地区社会福祉協議会
- ◇ 下蒲刈地区みんなで健康づくり協議会
- ◇ 下蒲刈地区防犯組合連合会
- ◇ 下蒲刈地区交通安全推進協議会
- ◇ 広交通安全協会下蒲刈支部
- ◇ 下蒲刈地区青少年補導員連絡協議会
- ◇ 下蒲刈地区人権教育啓発推進協議会
- ◇ 下蒲刈町身体障害者福祉協議会
- ◇ 下蒲刈町遺族会
- ◇ 下蒲刈町文化協会
- ◇ 下蒲刈公民館運営委員会
- ◇ 下蒲刈地区体育協会
- ◇ 下蒲刈地区町民大会実行委員会
- ◇ 下蒲刈町民文化祭実行委員会
- ◇ 梶ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会
- ◇ 下蒲刈地区とんど祭実行委員会
- ◇ 下蒲刈ウォーキング等実行委員会
- ◇ ゲートボール愛好会
- ◇ 下蒲刈地区自治会連合会
単位自治会（下島/三之瀬/大地蔵）
- ◇ 下蒲刈地区老人クラブ連合会
単位老人クラブ（下島/三之瀬/大地蔵）
- ◇ 呉市消防団下蒲刈地区隊
呉市消防団22・23・24分団
- ◇ 蘭島文化振興財団
- ◇ 朝鮮通信使行列保存会
- ◇ 蘭島閣ギャラリーコンサートの会
- ◇ 下蒲刈地区観光協会
- ◇ 春蘭会
- ◇ 下島春蘭会
- ◇ 下蒲刈中学校PTA
- ◇ 下蒲刈小学校PTA
- ◇ 下蒲刈保育所保護者会
- ◇ 子ども会（下島・大地蔵）
- ◇ 育児サークル「陽気な場所」
- ◇ ひまわりグループ
- ◇ 下蒲刈漁業協同組合
- ◇ 下蒲刈樹木管理組合
- ◇ 呉農業協同組合下蒲刈支店 婦人部
- ◇ 八の日朝市の会
- ◇ NPO法人海駅三之関



Live for garden island